

はじめ人間コース

旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代 江戸時代 明治・大正・昭和

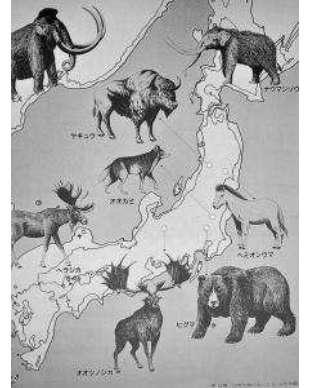
マンモスは旧石器時代に生きていたゾウです。日本各地から、マンモスやナウマンゾウのほか、日本列島にもともといなかった動物の化石も発見されています。ここでは、日本列島にはじめて人間があらわれてから、約1万年もの長い間くらしてきた縄文人のようすについて考えます。

問題1 日本列島に人間はどのように渡ってきたのでしょうか。①から③までの中から選んでください。

- ①大陸から舟でわたってきた
- ②大陸と日本列島が氷でつながったのでわたってきた
- ③日本列島にもともと人がいた

答え

問題2 日本ではマンモスのほかに、どのような動物の骨が発見されているでしょう。パネルの絵を見て、動物の名前を3つ書きましょう。



①

②

③

約1万2千年前から気候がしだいに暖かくなり、日本は海に囲まれるようになりました。気候があたたかくなると、マンモスなどの大型動物は死に絶え、小さな動物や鳥がたくさんすむようになりました。人々は土の焼きものをつくり、小動物をとらえる道具を考え出しました。

《貝塚のなぞ》

上高津貝塚の貝層（断面）をみましょう。たくさんの貝がかさなっていますね。これは、貝塚の一部です。貝塚全体ではものすごい量の貝がらが捨てられていると考えられています。上高津貝塚のように大規模なものについては次のような2つの考えが出されています。

自然説 人々が長い年月にわたって貝を食べたので、自然に大きな貝塚となった。

工場説 他の地域の人と物々交換するため、たくさんの貝をとったので貝塚ができた。

あなたはどちらの説ですか？ 私は（ ）です。

問題3 縄文人はどのようなものを食べていたのでしょうか。展示品から3つ選んで書きましょう。

魚貝では

動物では

植物では

展示されている資料をよく見てね



問題4 魚をつかまえるための道具にはどのようなものがありますか。パネルや展示品から3つ選んで書きましょう。

--	--	--

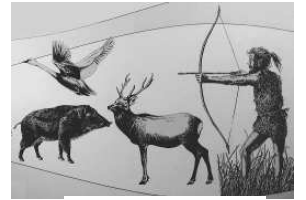
問題5 縄文時代には、旧石器時代になかった新しい道具がつけられるようになりました。展示品を見て考えましょう。

離れたところの小動物や鳥をとらえる
道具

--

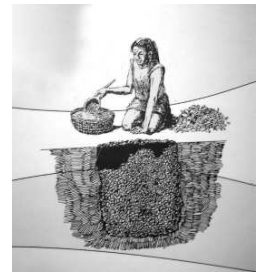
土でつくった焼きもの

--



問題6 縄文時代中期の遺跡からは、住居の近くからたくさん穴が見つっています。この穴は人間の背たけほどの深さです。なんのために掘られたのでしょうか。縄文カレンダーの絵を見て考えましょう。

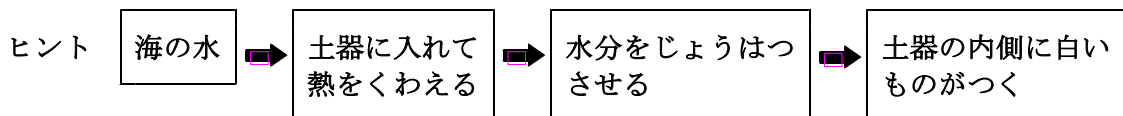
--



穴の中にはたくさんの
木の实があったそうよ

問題7 上高津貝塚では、縄文土器であるものを作っていました。展示されている土器を見て考えましょう。

答え



縄文人にはどのような信仰があったのかを調べましょう。
土偶は動物がたくさん生まれるように祈ったのではないかと考えられています

問題8 土偶をよく観察してみましよう。土偶は、男性・女性のどちらを表現したのでしょうか。

答え



問題9 写真右の土偶の大きさはどのくらいでしょう。実物を見て調べましよう。(約 cm)

印
